

## ご旅行条件(要約) (お申込みの前に必ずご覧ください)

お申し込みの際には、必ず旅行条件書(全文)をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上お申し込みください。

### ●募集型企画旅行契約

この旅行は株式会社JTB 大阪第三事業部(大阪府大阪市中央区南久宝寺町 3-1-8 観光庁長官登録旅行業第 64 号。以下「当社」という)が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書(全文)、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部にあります。

### ●旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1)所定の申込書に所定の事項を記入し、下記のお申込金を添えてお申し込みください。お申込金は、旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。
- (2)電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払をしていただきます。
- (3)旅行契約は当社が契約の締結を承諾しお申込金を受領したときに成立するものとします。
- (4)お申込金(おひとり) 30,000 円

### ●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって 21 日目にあたる日より前(お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日まで)にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いいただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

### ●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。(お1人様)

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって31日目にあたる日以前の解除	無料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目にあたる日以降3日目にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日～当日	旅行代金の50%
旅行開始後又は無連絡不参加	旅行代金の100%

### ●旅行代金に含まれるもの

\* 旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金(注釈のないがざりエコノミークラス) \* 旅行日程に明示した視察の料金(バス料金・通訳・ガイド料金・入場料金) \* 旅行日程に明示した宿泊の料金及び税・サービス料金(1人部屋に 1 人ずつの宿泊を基準とします。) \* 旅行日程に明示した食事の料金及び税・サービス料金 \* 航空機による手荷物運搬料金 \* 現地での手荷物運搬料金(一部の空港・ホテルではお客様自身で運搬していただく場合があります。) \* 添乗員同行費用  
これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。

### ●旅行代金に含まれないもの

前項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。  
\* 超過手荷物料金 \* クリーニング代、電話電報料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付け、その他追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金 \* 渡航手続関係費用 \* オプションツアー料金 \* 関西空港施設使用料・旅客保安サービス料 \* ご自宅から関西空港間の交通費・宿泊費 \* 旅行日程中の空港税等 \* 燃油サーチャージ

### ●特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。  
死亡補償金:2500万円  
入院見舞金:4～40万円  
通院見舞金:2～10万円  
携行品損害補償金:お客様1名につき～15万円(但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。)

### ●保険衛生について

渡航先の衛生状況については、厚生労働省「検疫感染症情報」ホームページ：<http://www.forth.go.jp/>でご確認ください。

### ●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員(以下「会員」といいます。)より「会員の署名なくして

お申込みを受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。(受託旅行者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行者により異なります。)  
契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき(e-mail 等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様の到達したとき)とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通じて頂きます。  
「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。(但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して7日間以内をカード利用日として払い戻します。  
与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

### ●旅券・査証について

(日本国籍でないお客様は、販売店または自国・渡航先国の大使館、入国管理事務所へお問合せください。)  
旅券(パスポート):日本帰着日まで有効なIC旅券が必要です。(残存は米国入国時90日以上が望ましい)  
査証(ビザ):査証は不要です。但し無査証で米国に渡航(乗継・入国)する場合、渡航72時間前までにインターネットを通じて査証免除可否のチェックを受ける電子認証システム「ESTA」での申請が義務付けられています。別途お渡しする書面にてご確認ください。  
\* 現在お持ちの旅券が今回の旅行に有効かどうかの確認、旅券・査証取得はお客様の責任で行ってください。これらの手続等の代行については、販売店(当社)が渡航手続代行料金をいただいております。

### ●海外危険情報について

渡航先(国又は地域)によっては、外務省「海外危険情報」等、国・地域の渡航に関する情報が出されている場合があります。お申し込みの際に販売店より「海外危険情報に関する書面」をお渡しいたします。また、「外務省海外安全ページ：<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>」でもご確認ください。

### ●海外旅行保険への加入について

海外において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の海外旅行保険に加入することをお勧めします。海外旅行保険については、販売店の係員にお問合せください。

### ●空港滞税について

渡航先の国又は地域によっては、その国の法律などにより渡航者個人に対して空港税等(出入国税、空港施設使用料、税関審査料等)などの支払が義務付けられています。表示されている旅行代金には、空港税等は含まれておりませんので、別途お支払いが必要です。(当社が日本円で収受する場合は、ご出発の35日前に、水～土曜日発は5週間前の月曜日午前中の終値、日～火曜日発は6週間前の月曜日午前中の終値(いずれも東京三菱銀行売渡レート)により換算し、確定いたします。)

### ●事故等のお申し出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・ガイド、または、最終日程表でお知らせする連絡先にご通知ください。(もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。)

### ●個人情報の取扱について

当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。当社は、旅行先でのお客様のお買い物等の便宜のため、当社の保有するお客様の個人情報を土産物店に提供することがあります。この場合、お客様の氏名、パスポート番号及び搭乗される航空便名等に係る個人情報をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供いたします。なお、これらの個人情報の提供の停止を希望される場合は、お申込店に出発前までにお申し出ください。

### ●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2018年6月4日を基準としています。又、旅行代金は2018年6月4日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

# “エイジレス社会” 海外福祉事情・調査研修 アメリカ(ロサンゼルス)6日間の旅

## 現場の声から学ぶ

## 「医療～リハビリ～介護」の協働体制と 認知症ケアや緩和ケアが必要な方々への支援

### 《事前研修・旅行説明会を実施(10月中旬～下旬予定)》

■ ご旅行日程 2018年 11月12日(月)～11月17日(土) 4泊6日

■ ご旅行代金 大人お1人様あたり 399,000円 (2名1室利用)  
【但し、ファイナ財団シルバーサービス会員の方は 379,000円】

※ 別途、関西空港施設使用料・旅客保安サービス:3,040円・海外空港税:約7,000円、燃油サーチャージ目安:21,600円(6月4日現在。増額された場合には不足分を追加徴収、減額された場合には減額分を返金いたします。)が別途必要です。  
※ 米国渡航の際は、電子認証システム(ESTA)登録が必要です。(代行登録有(有料:実費約2,000円+代行登録費用6,480円))  
※ お一人部屋利用追加代金 78,000円(4泊分) ※1名参加、奇数人員での参加の場合、相部屋を希望する相手方が見つければ相部屋での受付をいたします。ただし、相部屋希望の相手方が見つからなかった場合はお一人部屋追加代金が必要となります。

■ 利用ホテル ロサンゼルス “New Gardena Hotel” <スタンダードクラス>ツインルーム(トイレ・バス付)利用  
■ 利用航空会社 日本航空 <エコノミークラス>

※ アメリカン航空(AA)、ラタムエアラインズ(LA)、マレーシア航空(MH)とのコードシェア便です。  
※ 実運航会社:日本航空 ※機材、乗務員、機内サービス全て日本航空が提供いたします。

■ 添乗員 全行程 同行いたします。  
■ お食事 朝食4回・昼食2回・夕食2回(機内食除く)  
※日程表に食事設定記載が無い場合、現地研修施設等で販売・ご案内させていただきます。16名様(最少催行人員12名様)  
■ 募集人員 2018年9月7日(金) ※期日前でも定員になり次第、締め切りとさせていただきます。  
■ 申込締切日 お申込書に必要事項を明記の上、株式会社JTBへ郵送又はFAXでお申し込みください。  
■ お申し込み方法 皆様同一行動となり、現地での合流や途中離団は認められません。  
■ 注意事項

### 研修企画

一般財団法人 大阪府地域福祉推進財団(ファイナ財団)

一般財団法人 大阪府地域福祉推進財団シルバーサービス会員企業  
〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4番15号(大阪府社会福祉会館内)  
TEL:06-4304-0294 /FAX:06-4304-2941 財団ホームページ <http://www.fine-osaka.jp>

### 旅行企画・実施

株式会社JTB 大阪第三事業部  
観光庁長官登録旅行業第64号 一般社団法人日本旅行業協会正会員  
〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-1-8



### お申し込み お問い合わせ

株式会社 JTB 大阪第三事業部  
〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町3-1-8 MPR本町ビル11階  
TEL:06-6252-2684 /FAX:06-6252-2695  
ホームページURL: <http://www.jtb.co.jp/shop/whc>  
【営業時間 平日9:30～17:30 / 土・日・祝日: 定休日】  
総合旅行業務取扱管理者: 稲垣 弦  
担当: 営業2課 増井 利充

旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。

き り と り せ ん  
【お申込書】 株式会社JTB 大阪第三事業部 担当: 増井 苑

ふりがな	性別 男 ・ 女	有効旅券(～帰国日)	有 ・ 無	有効 ESTA(～出発日)	有 ・ 無
お名前	生年月日(西暦) 年 月 日 (大正・昭和・平成)	旅券の発行年月日 と有効期限	発行 有効	年 月 日 年 月 日まで	
ご自宅住所	〒 — TEL: — —	お1人部屋希望	有 ・ 無	同室希望者	
ご勤務先名		職種		役職	
ご勤務先連絡先	〒 — TEL: — — FAX: — —	メールで連絡ご希望の方はアドレス			

●取引条件説明書に記載の旅行条件及び、旅行手配のために必要な範囲内での運送・宿泊機関などその他への個人情報の提供をいたします。  
また、一般財団大阪府地域福祉財団に対しても情報提供いたします。 同意の上、お申込ください。

【日 程 表】 2018年11月12日(月)～11月17日(土) <6日間>

日	月日(曜)	地 名	現地時刻	交通機関	予 定 (宿泊地)	食 事
1	11/12 (月)	関西空港集合 関西空港発 ↓	15:00 17:45	JAL060 (コードシェア便)	ご集合・チェックイン・出国審査・搭乗 空路、ロサンゼルスへ(日本航空・直行便)	夕:機内
		ロサンゼルス空港着 ロサンゼルス	10:40	専用車	着後、入国手続 市内へ、ロサンゼルス市内観光 夕刻ホテルへ (下車 サンタモニカ・3 <sup>rd</sup> Street Promenade) (ロサンゼルス 泊)	朝:機内 昼:機内 夕:機内
2	11/13 (火)	ロサンゼルス 及び近郊	午前	専用車	午前(講義①)現地研修コーディネーターによる講義 ●米国医療サービスと患者の流れ (急性期病院～療養型病院～介護施設～訪問看護・介護の一連の流れと相互の関わり) ●米国医療保険制度と今後の動向	朝:ホテル 昼:機内 夕:機内
			午後	専用車	午後(視察①) ●リハビリテーション専門病院 ❖ICU又は一般病棟の見学 (脳卒中、脳外傷、脊髄損傷ユニットから1箇所選択) ❖リハビリ室にてPT又はOTのセラピーセッションの見学 ❖車椅子ラボラトリー(ハイテク車椅子、車椅子のフィッティング、様々な座位クッションの解説) ❖ウエルネスセンター内見学 (地域に開放している障がい者と健常者共有のジム)	
3	11/14 (水)	ロサンゼルス 及び近郊	午前	専用車	午前(講義②) ●日米両ライセンスを持つホスピス専門医による講義 ❖アメリカの緩和ケアと終末期ケア、日米比較 ❖緩和ケアサービスの内容、症例紹介 ❖ケアチームの多職種協働アプローチの実際 (医師、看護師、ソーシャルワーカー、介護士、ボランティア、宗教家、運営管理者、他)	朝:ホテル 昼:機内 夕:機内
			午後	専用車	午後:自由行動 (ロサンゼルス 泊)	
4	11/15 (木)	ロサンゼルス 及び近郊	午前	専用車	午前(視察②) ●アルツハイマー支援協会 ❖オフィス見学 ❖地域教育管理者によるプレゼンテーション (患者様やご家族への様々なサポートプログラムの紹介、自助会、地域社会への働きかけの実例など)	朝:ホテル 昼:機内 夕:機内 (懇親会)
			午後	専用車	午後(視察③) ●認知症専門介護施設 ❖施設見学(入居者の部屋、アクティビティールーム、スイミングプール、ダイニングルーム) ❖アクティビティの見学 ❖現場スタッフや施設管理者とのディスカッション (最新リサーチに基づいた認知症入居者への配慮や特別プログラムの紹介、スタッフ教育の実際、現場スタッフのチャレンジとその対処) 研修のまとめと質疑応答、修了書授与、懇親会 (ロサンゼルス 泊)	
5	11/16 (金)	ロサンゼルス ロサンゼルス空港着 ロサンゼルス空港発 ↓	午前 10:30 12:35	専用車 JL069 (コードシェア便)	空港へ移動 チェックイン・搭乗手続 空路、帰国の途へ(日本航空・直行便) (機中 泊)	朝:ホテル 昼:機内 夕:機内
6	11/17 (土)	↓ 関西空港着	18:15		到着、荷物受取・解散	夕:機内

※ご利用航空会社:【日本航空(JL)(コードシェア便)】  
 ※時 差: 17時間【日本:午前10:00】⇒【ロサンゼルス:前日17:00】[※冬時間(11/7~3/12)]  
 ※ご利用宿泊ホテル:『New Gardena Hotel』  
 ※お 食 事: 食事設定で - の記載箇所は現地研修社のご案内・販売、又は添乗員からご案内申し上げます。  
 ※この日程表の記載内容は、天候や交通機関の都合、研修先等の現地事情により変更となる場合があります。

時間帯の目安	早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
	04:00	06:00	08:00	12:00	16:00	18:00	23:00 04:00

研修中は現地研修コーディネーターの日本語スタッフが通訳、会話をサポートいたします。  
英語が不安な方でも安心してご参加いただけます。

当コースをお勧めする職種

施設管理者、看護師、理学療法士、作業療法士、医師、社会福祉士、介護福祉士、生活相談員、介護支援専門員、福祉用具専門相談員、訪問看護ステーション管理者、訪問リハビリテーション管理者、ホームヘルパー

当コースにご参加いただくにあたって

今回は「医療～リハビリ～介護の連携」「認知症ケアや緩和ケアが必要な方々への様々なサポート体制」について、現場の声を直接豊富に深く聞き込む、実践的研修をご用意しました。

事前研修を始め、講義・研修・視察を体系的にプログラムとして設定し、内容の濃い研修となっています。

各組織のスタッフで意欲のある方・適職の方にご参加いただき、研修で得たことを実際の現場でのヒントとして皆様の職場で活用いただけるものになるよう、企画スタッフ一同、万全の準備をして皆様をお待ちしております。

研修内容

※視察先の事情等により、視察先、視察・研修内容が変更になる場合があります。

【事前研修(出発前)】 米国高齢社会の医療・福祉制度の学習と日本との比較・訪問施設の概要説明

事前にアメリカの高齢社会に関わる医療・福祉制度の基本を日本との比較のもとに学び、現地での講義内容や訪問施設の概略を現地研修スタッフがご説明いたします。(事前研修日程は後日のご案内となります)

【現地での講義】

【講義①】米国医療サービスと患者の流れ、米国医療保険制度と今後の動向

短期間で在宅復帰を迫るアメリカの医療及び保険制度、またそれを可能にする各種医療・介護施設のすみ分けや各職種の役割を『日本語でわかりやすく』現地のエキスパートが説明します。現場視察に入る前に「日米のシステムの違い」のポイントを把握する事で実際の視察をより深く理解でき、現場スペシャリストとのディスカッションにも役立ちます。

【講義②】アメリカの緩和ケアと終末期ケア、日米比較

医療と介護の隙間を埋める緩和ケアプログラムを実践するホスピス専門医が日本語で講義いたします。日米両国でのホスピス診療経験をベースに、現在提供している患者様やご家族への様々なサービスや支援について、現場の実例をお話いただきます。多職種チームのアプローチを中心に、日米ホスピスケアの比較も交えますので、今後の日本のホスピスケアに求められるヒントを学べます。日本ではなかなかお会いできない先生に、言葉の壁なく自由に質問やディスカッションができる、またとない機会です。

【現地での視察】

【視察①】リハビリテーション専門病院

脳卒中、脳外傷、脊髄損傷などの身体障がいにて急性期病院から転院してきた患者様は、リハビリ病院にて1日3時間のPT、OT、ST、レクリエーション療法などのセラピーを受けます。平均入院日数2週間程度の同病院では、「先生に治してもらおう」ではなく、「自分がリハビリをして治す」ことを患者様に強調します。患者様が主体的にゴールを設定し、家族も共にセラピーに関われるように、リハビリ療法士がリードする現場を体感いただけます。また、退院後障がいとともに生きる方々は、ウエルネスセンターという、障がい者と健常者共有ジムへのアクセスがあります。各種趣味クラブもセンター内にあり、障がい者と地域社会の自然な融合が進んでいます。

【視察②】アルツハイマー支援協会

アルツハイマー疾患患者様やご家族への支援の実際を紹介いたします。ヘルプライン、ケアコンサルティング、自助会のコーディネーション、介護にかかわる方への教育、医療従事者へのトレーニング、軽度認知障害時のカウンセリング、地域社会への積極的な働きかけなど、協会の活動内容も豊富です。成功した活動や、効果を生まなかった活動などの事例も聞き込み、今後の日本での認知症支援に役立てていただきます。

【視察③】認知症専門介護施設

認知症最新リサーチに基づいた住まいの設計、施設で生活をしていることを入居者に意識させない、様々な工夫をご覧ください。うつや不安症を和らげるためのセラピー、認知症の進行を遅らせるための様々なアクティビティ、家族への精神サポートなど、認知症スペシャリストならではの特色を体感できます。職員と入居者の比率を1:7に保つ手厚いケア、職員への認知症専門トレーニングも充実しています。管理者だけでなく、現場スタッフとの面談を通じ、問題点とその対処法を共有し、今後のヒントを持ち帰っていただきます。